

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和6(2024)年度 第1回みよし市社会教育委員会		
開催日時	令和6(2024)年7月12日(金) 午後2時から午後3時50分まで		
開催場所	図書館学習交流プラザ「サンライズ」2階 多目的室		
出席者	委員長 今瀬 良江 副委員長 近藤 憲司 委員 野口 尚子、大地 由美子、中村 有里、大村 恵、岡本 清則、鈴木 誠直、堀本 さなえ (計9人) 市側 増岡教育長、富田教育部長、鈴木教育部副参事、岡田教育部次長兼学校教育課長、林スポーツ課長、橋本歴史民俗資料館館長、二子石生涯学習推進課長、伊豆原生涯学習推進課副主幹、竹谷生涯学習推進課主査 (計9人) 出席者：18人 傍聴者：0人 欠席者：1人		
次回開催予定日	令和7(2025)年2月下旬		
問合せ先	みよし市教育委員会生涯学習推進課 担当者名 竹谷 電話番号 0561-34-3111 ファックス番号 0561-34-3114 メールアドレス gakushu@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	協議・報告事項 1 協議事項 (1) 社会教育委員関係について (2) 令和6(2024)年度教育行政方針 (3) 令和6(2024)年度社会教育関係事業及び社会体育事業の概要について ① 学校教育課の概要 ② スポーツ課の概要 ③ 生涯学習推進課の概要 ④ 歴史民俗資料館の概要 ⑤ 令和5(2023)年度社会教育・生涯学習活動報告について		

会議録

<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)</p>	<p>本日は大変お忙しいところ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただいまより、令和6年度第1回みよし市教育委員会を開催いたします。開会にあたり、礼の交換を行います。恐れ入りますが、皆様ご起立ください。一同礼、よろしくお願いいたします。ご着席ください。</p> <p>本日の会議には、上田委員につきましては、事前にご欠席されるとの連絡をいただいておりますので、ご報告させていただきます。</p> <p>はじめに、委嘱状の交付を行います。</p> <p>令和5年度任期が満了したことに伴いまして、令和6年度、本年度より2年間、皆様に新たに社会教育委員をお願いしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。教育長より委嘱状の交付をさせていただきます。今瀬委員から名簿の順に名前をお呼びしますので、順番がまいりましたらご起立をお願いします。</p> <p>今瀬良江様。</p>
<p>増岡教育長</p>	<p>(今瀬良江委員はじめ委員9人に委嘱状交付)</p>
<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹) 増岡教育長</p>	<p>それでは、はじめに増岡教育長がご挨拶申し上げます。</p> <p>皆さんこんにちは。自席で失礼します。とてつもなく暑いですね。梅雨の合間というか、先週から今週まで、その間に市内を歩いていますと、急にこの一週間でひまわりが2メートルどころか3メートルに届かんぐらいの勢いで成長して、太陽の方を向いている。そんな様子をこの一週間くらいで、急に伸びたなあということを感じたわけですが、いよいよ昨日今日くらいから、最後の梅雨の雨がスタートしたということで、今日は大変足元の悪い中ですが、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>令和6年度、最初の社会教育委員会でありますので、一言ごあいさつ申し上げます。私は教育長を拝命して、これで1年と9か月になりますが、なかなか慣れずに苦勞しております。そうこうしているうちに、前教育長に社会教育委員に加わっていただき、こんなに心強いことはないと思いつつながら、今回の会議を迎えているわけですが、みよし市教育プランというのがございまして、平成28年4月からスタートしていますが、平成27年に作ってこれを前教育長の下で、自分も課長として10年間の計画を立てたわけですが、そこには学ぶ楽しさで人と人を繋ぐという基本理念がございまして、これは子供たちのことだけではなく、市民皆が学びあう中で、繋がりがあっていけるといいなという願いを最初に込めた言葉だと思います。</p> <p>そうやってずっとやってきたわけですが、何とあのコロナ禍で、人と人の繋がりが一気にうまくいかなくなってしまう、みんなで気を付けている中で、やっぱり人と人の繋がりがちょっと薄くなってしまったということがあったのかな、と思います。実はこの計画、来年が最終年を迎えるわけですが、最後何とか繋がりを取り戻して、さらに深いものにして次の計画に移っていきたくと思っています。そして、次の計画の中心となるのが、もちろん子供たちのことも大切なわけですが、この教育プラン、教育振興計画の目指す子供像とか人間像、市民像というのかな、生涯自らを磨き続け仲間と共にふるさとみよしを築き、よりよい時代を作り出す人間像を目指す、次代を担う子供たちをみんなで育てようということも一つあるわけですが、もう一方でですね、生涯にわたって学び続ける市民を応援していきたいという思いを込めて、現教育計画を進めています。この市民を応援するっていうほうにもっと力を入れる必要があると思っています。</p> <p>人生100年時代とかですね、それから定年はだんだん伸びていますが、そのあとも長い人生を送られる先輩方、もう僕もその域になっているのかも知れませんが、そこを楽しめるようなみよし市であってほしいと思う子供たちが、子供の頃描いた夢や希望を叶えたうえで、その後最後までと申しますか、その100年間を本当に楽しく人間らしく生き抜いていくために、もっと教育委員会としてやっていけることがあるのではないかと、ということをおもっております。</p> <p>近藤委員からは、教育委員会予算や市の基本計画の検討時にもっともっとみよしを皆が好きになるような、故郷を大事にするような取り組みをやってみたらどうかとか、大地委員からは家庭教育も大事だよという話を、それぞれずっと伺ってきておりますが、教育といっても学校教育と社会教育と家庭教育と三つあるわけですが、やはり学校教育だけでは片手落ちだと、そのためには家庭教育と社会教育がいかに大事か、また、学校卒業した後の人生、長いわけですので、その人生をいかに充実したものにしていただくことが必要、大切かということ、次の教育振興計画の柱にしていかなければなら</p>

<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)</p>	<p>ないと思っております。 こちらにお集まりにいただいた皆様には、いろいろな分野でお仕事に頑張っていたいでいる皆さまでございますので、是非それぞれの立場から皆が合わさって素晴らしい社会教育の実現に向けて動いていただけるといいなあと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、自己紹介に移りたいと思います。 本年度、最初の会議ですので、委員、事務局の自己紹介をお願いしたいと思います。 お手元の名簿10まで、委員からお願いいたします。</p> <p>(各委員、事務局の順番に自己紹介)</p>
<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)</p>	<p>ありがとうございました。ここで、教育長は他の公務があるため、退席させていただきます。よろしくお願い致します。 それでは、委員長及び副委員長の選出をお願いしたいと思います。 みよし市社会教育委員条例第6条に委員長は委員の互選によって定め、副委員長は委員の内から委員長が指名すると定められていますので、委員の皆様から委員長の推薦をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
<p>大地委員</p>	<p>委員長には経験も豊富な今瀬委員が適任であると思われるので、推薦します。</p>
<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)</p>	<p>ただいま大地委員より委員長に今瀬委員のご推薦をいただきました。他にご意見はございませんでしょうか。それでは、ここで皆様にお諮りしたいと思います。今瀬委員を委員長にすることに賛成の委員は挙手をお願いいたします。 ありがとうございました。全員賛成により、委員長には今瀬委員にご就任いただくことになりました。今瀬委員、委員長席にご移動願います。 なお、副委員長は委員長が指名することになっておりますので、今瀬委員長、副委員長の指名をお願いいたします。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>近藤委員に副委員長をお願いしたいと思います。</p>
<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)</p>	<p>副委員長に近藤委員が指名されました。近藤委員よろしく願います。席の移動をお願いします。 それでは、委員長、副委員長にそれぞれご挨拶いただきます。委員長願います。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>委員長に推薦されました今瀬良江と申します。よろしくお願い致します。 本当に1年8か月、数か月前までは願する立場であり、教育振興基本計画を策定し、あの頃は本当にみよしの学校教育の立て直しということを中心にしてきましたので、自分でも学校教育に力を入れて動きがあったことは意識しております。それを今回、今の教育長が社会教育の方にも力を入れるということをおっしゃってくださって大変うれしく思っております。ただ、自分としても社会教育を大事にしたいということで、サンライブのことだとか、様々なイベント等も計画してやってみましたが、さらに発展するのであろうということが、期待されております。 自分も社会教育委員になりまして、2回ほど研修を受けました。それで社会教育委員という立場はすごく重要なんだなということを改めて認識しました。多岐にわたります学校教育は本当に学校一本なんですけども、生涯学習、生涯スポーツ、それから家庭教育、今のコミュニティースクールと地域学校協働本部と本当に広い分野を受け持つ場であるということ、そして今日お願いしておいたハンドブックも刷っていただいてありがとうございます。その中の社会教育の職務というところで、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会への答申、意見を求める必要な研究調査等行った青少年教育に関する助言指導、そしてまた、次には自分の経験を生かしてのそれぞれ行政区に届けるという重要な立場であるということ、そして自分も勉強不足であったことを再認識し、実は県教委の研修でも行くたびに、今コミュニティースクール地域学校協働本部の立ち上げ推進をという声で、地域コーディネーター等研修会というのがありますということを紹介されて、私も受けることにしました。第1回目はズームでしたけれど、第2回目からは会場に行って勉強して、さらに皆さんに声を届けて、更なるコミュニティースクールとか、地域学校協働活動推進に少しでも尽力できたらなあと思っております。 それ以外にも、多岐にわたりますが、いよいよ教育プランの改訂でもありますので、社会教育委員会の声を、多分近藤先生、大地先生が力強く届けていただけると思います</p>

<p>近藤副委員長</p>	<p>ので、皆さんからの忌憚のない意見をいただきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど言いたいことは自己紹介で伝えたんですけど、今自分の頭に非常に難しいなあ、社会教育でやっていかなければならないというのは、今中村先生が臨床心理士をやっていますということだったんですけど、自宅で臨床心理士として大人もありますけど、子供の小学生、中学生、高校生の不登校の面談をやっているんですけど何が難しいというと、教科書を今採択で多分教育委員会室で1年間でこれぐらいの分量の勉強をするんですね。教科書のざっと厚さだけでも、これが何年か抜け落ちてどこかの高校とか受け入れ先はあるんですけども、あの内容がスポンと抜けてしまうと、知識は何とかあるから後から勉強できて、学び方とか何とかやっているんですけど、対人関係とか生きていくための仕事がある。</p> <p>どれを順番にやったら今日一日こなせるかっていうのが、毎日子供たちって学校で知らないうちに身につけるんだけど、毎日昼夜逆転でゲームやってた子たちが、社会に出たときに基本的に生きるすべをどうやって社会に出たときに学ぶチャンスがあるのかなあとか。</p> <p>SNS漬けになっている子供の面談やっても、標準語が基本的に通じていかないというのは、そういう対人関係のところ落ちちゃってるので、日本語が通じていかないというそういうもどかしさってあるんですけど、この社会教育でこの人たち、後どういふフォローをして、みよし市の市民として日本人として生きていくのか、どこが請け負ってやっていくのか。基本的にはもう学校教育抜けちゃうと社会教育しかないんで、そういう学校に一つの学校には30人くらい不登校の子がいますけど、抜け落ちた部分をどこがどうフォローしていくのかなって非常に難しい時代に、社会教育委員をやるので、その辺も含めながら何とか皆さんのお知恵を拝借しながら、やっていきたいなあというのは、それが今自分の課題かなあと思って取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくようお願いいたします。</p>
<p>典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここからはみよし市社会教育委員条例第6条第3項の規定により、委員会の取り回しを今瀬委員長にお願いしたいと思っております。今瀬委員長よろしく申し上げます。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>会議の取り回しを行います。皆様のご協力をお願いします。本日の傍聴はございません。それでは次第に沿って会議を進めます。</p> <p>はじめに、次第5の社会教育委員関係、次第6の令和6年度教育行政方針について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>二子石生涯学習推進課長</p>	<p>お願いいたします。資料の1ページをご覧ください。令和6年度みよし市社会教育委員会委員名簿でございます。今瀬委員長はじめ、10名の委員の方には今年度お世話になりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、2ページをご覧ください。社会教育委員の役割と根拠法令が記載されております。上から2段目の二重丸のところに記載されておおり社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するために置かれた委員となりますので、皆様の活発なご意見をいただきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>3ページをご覧ください。みよし市教育委員条例です。委員の基準や定数、任期などが規定されております。</p> <p>4ページをご覧ください。令和6年度社会教育委員会年間予定です。全員の委員さんにお出席をお願いするものは、本日を含め年2回の社会教育委員会となります。</p> <p>東海北陸社会教育研究大会は、今年度予算がありませんので、申し訳ありませんが不参加とさせていただきます。来年度は、予算要求して参加できるようにしてまいります。また、今年度は今瀬委員長が愛知県社会教育委員連絡協議会の委員となっておりますので、行事数が増えております。また、県等からの依頼で本市から4名程度の出席依頼がある会議等がございますので、県等から出席依頼がありました会議等につきまして、順次ご連絡させていただく予定でございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>資料の5ページをご覧ください。みよし市教育委員会機構図になります。教育委員会に教育部を置きまして、教育部には、学校教育課、学校教育課のもとに学校給食センター、スポーツ課、生涯学習推進課、生涯学習推進課のもとに歴史民俗資料館の五つの所管となっております。</p> <p>6ページをご覧ください。令和6年度当初予算総括表でございます。</p>

	<p>本年度の教育費の総額は46億2,133万4千円で前年度比1.5%の減となっております。令和5年度と6年度の1億円以上の差額の大きいところを説明させていただきます。項1教育総務費、目2事務局費は人件費の増額によりまして、22.5%の増となっております。項2小学校費、目3学校建設費は天王小学校普通教室棟建設及び職員室増築工事の完了によりまして、47.4%の減となっております。</p> <p>7ページをご覧ください。令和6年度教育行政方針でございます。3月の令和6年第1回みよし議会定例会におきまして、増岡教育長が今年度の教育に関する重点施策などを説明したものととなります。みよし市教育振興基本計画に基づき、重点施策20の作戦プラスワンを中心に97施策を実現させます。学ぶ楽しさで人と人をつなぐという基本理念のもとに生涯にわたって自らを磨き続け仲間とともに、ふるさとみよしを築き、よりよい次代を創り出す人づくりに全力を傾けてまいります。</p> <p>大きな項目といたしましては、7ページの次世代を担う子供をみんなで育てる学校教育の振興、10ページの生涯にわたって学び続ける市民を応援する生涯学習の振興、12ページのふるさとみよしを創る市民を育てるの3点がございます。</p> <p>これらの重点施策につきましては、この後、各課から詳しく説明をさせていただきます。以上です。</p>
今瀬委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問があったらお願いします。</p>
大村委員	<p>6ページの予算のところ、社会教育に関わるところでかなりの増減があるので、これがどういうことでこうなったのかっていうのを教えていただきたいんですが、いかがでしょうか。</p>
今瀬委員長	<p>どのような理由でということ、資料館も関係していると思いますが、まず資料館の方、よろしいでしょうか。</p>
橋本歴史民俗資料館館長	<p>社会教育費の中の歴史民俗資料館費につきましては、121%の増ということですが、こちらの方はですね、今資料館は42年経過しておりまして、空調設備が不調でございまして、昨年二階の展示室部分の空調が止まってしまったということで、昨年度設計等を行いました、今年度は工事に入りますので、その部分が増のほとんどということになります。金額的には3,300万円という予算をいただいておりますので、その中で工事を秋頃行っていく予定をしております。</p>
二子石生涯学習推進課長	<p>生涯学習課の方ですが、社会教育費の中の目3公民館費でございますが、昨年に比べまして、1,400万円程減額となっております。理由は、みよし市内に8か所公民館がございまして、昨年雨漏りの修繕ということで、500万かけた公民館が2か所あります。そこだけで1,000万かかっています。それ以外にも小さな修繕とかありますが、そういったものが今年度予算がなくなっているんで、1,400万円程の減額となっております。以上です。</p> <p>次に公民館費の方ですが、今年度は、平成28年9月にここのサンライブがオープンした時に図書館システムというのがありまして、そのシステムにかかるパソコン等を入れさせていただいております。そのパソコンが8年経過し保守期間が終わりまして、今年9月にパソコンとかの機械の入れ替えを予定しております。その費用が約5,000万円程ありますので、ほぼこちらが該当するものということになりますので、よろしくをお願いします。</p>
今瀬委員長	<p>修繕とか、設備関係、新しく企画した予算など新事業での予算の増減とかそういうものはないですか。</p>
二子石生涯学習推進課長	<p>今、今瀬委員長の方からお話がありましたが、基本的には大部分がシステムの関係ということで、読書啓発事業だとか図書館独自の事業は例年並みの状況で実施予定であります。ただ本の蔵書の割合につきましては、平成28年にオープンをいたしまして、図書館内の本棚がほぼいっぱいになりまして、今後につきましては本の入れ替えを中心に本を購入していこうと考えています。そこで、紙の本の代わりに電子書籍というものも令和3年から図書館に導入させていただきまして、そちらのほうをどちらかというところ多く、入れ替え等考えております。以上です。</p>
大村委員	<p>青少年教育費が4倍以上になっていますが、施設の方かもしれませんが、ちょっと教えていただけませんか。</p>

<p>二子石生涯学習 推進課長 今瀬委員長</p>	<p>ちょっと今すぐにはわからないのですみません。調べて後ほどお答えします。</p> <p>ごめんなさい。よろしいですか。では、続きまして令和6年度社会教育関係事業及び社会体育事業の概要について、説明をお願いします。</p>
<p>岡田教育部次長 兼学校教育課長</p>	<p>学校教育課長の岡田と申します。よろしく申し上げます。それでは私からは社会教育関係事業ということで、まずは学校教育課事業の概要から説明させていただきます。</p> <p>資料15ページをお願いいたします。コロナ禍において制限されておりました学校生活につきましても徐々に従前の状況に戻りつつありまして、子供たち、児童生徒は仲間と関わる機会も増えてきているところがございます。GIGAスクール構想により整備されましたタブレット端末の操作にも、教員はじめ児童生徒も慣れてきているところで、さらにそれを活用する方法につきまして、対応する課題もあるかと考えております。そんな中、みよし市教育プランにおきまして、保育、教育をキーワードに学校、家庭、地域が一体となりまして、目指す児童生徒像の達成に向けて推進をしております。</p> <p>それでは、16ページの重点事業でございますが、5番の教育環境整備事業におきましては屋内の運動場への空調機の整備事業でございますが、今年度で全小中学校での設置完了を予定しております。7番の放課後こども教室事業におきましては、昨年度北部小学校と天王小学校で試行的に実施いたしました。今年度から全小中学校への設置をいたしまして、地域の皆様、市内事業所の方々にもご協力をいただきながら様々なプログラムの提供に努めるとともに、サッカーやバスケットボールなどの期間限定のプログラムも実施しております。続きまして、17ページ、こちらにおきましては主要事業でございますが、1番の個に応じた教育を推進し、仲間と進んで学ぶ児童を育てることでございますが、こちらでは少人数学級を継続しながら、一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させるため、小学校1、2年生で1学級30人を超える学年に1人ずつ学年担任を加配しております。</p> <p>また、続いて19ページ4番の安心、安全、快適で信頼される学習環境をつくるでは、総合対策といたしまして、学びの森に配置しております専門相談員による相談機会の充実を図るとともに、民間フリースクールを利用する児童生徒の保護者の負担軽減のため、通学にかかる交通費の補助を今年度から開始しております。こちらにつきましては、みよし市内の施設に通所するための交通費の3分の1の額を月額1万円を上限に補助いたします。続きまして、22ページ20歳の集い事業におきましては、今年度は5年ぶりに4中学校区合同で開催を予定しており、ほかにもPTA活動、ふれあいトライアングル推進事業、家庭教育活動の支援を引き続き行ってまいります。</p> <p>続きまして、28ページをお願いいたします。家庭教育学級でございますが、小学校の児童や保護者を対象に開催されます教育活動に対しまして、講師謝礼として報償費や施設使用料を市が負担して活動の支援を行っております。</p> <p>令和5年度の実績でございますが、別途資料ナンバー5、社会教育・生涯学習活動報告書でございます。こちらの資料ナンバー5の2ページ、3ページをご覧ください。</p> <p>こちらの2ページ、3ページに活動実績が記載されていますが、合計16回開催いたしまして、338人の方に参加いただきました。</p> <p>続きまして、ふれあいトライアングル推進事業でございます。恐縮ですが、先ほどの資料ナンバー1にお戻りいただきたいと思いますが、ふれあいトライアングル推進事業こちらは家庭教育に関しまして、地域社会の問題として捉えた中で、家庭・地域・学校の連携による地域ぐるみの実践活動を通して、家庭教育力の向上を図ることを目的に実施するものです。</p>
<p>今瀬委員長 岡田教育部次長 兼学校教育課長</p>	<p>ちょっとよろしいですか。資料1の何ページになりますか。</p> <p>はい。30ページをお願いします。ふれあいトライアングル推進事業でございます。</p> <p>こちらは家庭教育に関しまして、地域社会の問題として捉えた中で、家庭・地域・学校の連携による地域ぐるみの実践活動を通して、家庭教育力の向上を図るものです。8つの小学校の家庭教育推進協議会に対しまして、年間4万円補助しております。令和5年度の実績といたしましては、合計30の事業が開催されました。</p> <p>続きまして、31ページをお願いします。思春期家庭教育講座でございます。こちらは思春期の子どもの悩みや不安に関しまして、その対処方法の一助となるべく、保護者や生徒を対象に行事や講座の開催に対する講師料を市が補助しております。こちらにつきましては、資料ナンバー5の4ページに実績がございますが、合計で4回開催いたしまして、693名の方にご参加いただきました。</p>

<p>今瀬委員長</p>	<p>以上3つの事業でございますが、それぞれ事業を展開しているところですが、学校等からのご意見等も伺いながら、今年度は家庭教育学級の部分で実施要領の開催要件など見直しを随時図ってまいりますので、よろしく願いいたします。以上説明とさせていただきます。</p> <p>続いて、スポーツ課お願いします。</p>
<p>林スポーツ課長</p>	<p>スポーツ課長の林です。よろしくお願いいたします。資料ナンバー2の33ページからとなりますので、お願いします。スポーツ課の概要について説明をさせていただきます。</p> <p>本市では平成27年度にスポーツ推進計画を策定し、令和3年3月に社会環境の変化や市民のスポーツに対する意識の変化等を踏まえ、計画を改訂しました。市民がスポーツに親しみ行う、観る、支えるの観点から、市民ニーズに応じたスポーツを気軽に楽しむことができる環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>今の重点事業でございますが、重点事業は1から3まで書いてありますが、そこに書いてある行うスポーツ、観るスポーツ、支えるスポーツを推進、スポーツ行政の連携の推進というのは、スポーツ推進計画の五つの基本に基づいております。</p> <p>3番の令和6年度の主要事業ですが、昨年度から大きく変わったところを申し上げます。1番の行うスポーツの推進では、放課後こども教室であるわくわく体験への参加及び小学生に対して、みよし市スポーツ推進委員がカラーリング等のレクリエーションスポーツを体験できる機会をつくってまいります。</p> <p>2番の観るスポーツ、支えるスポーツの推進でございますが、これは中学校の部活動の地域移行に向けましてスポーツ推進員、スポーツ協会、カヌー協会、総合型スポーツクラブ等と連携して、指導者の育成、受け入れ体制の整備を進めてまいります。そして、3番のスポーツ環境の整備と交流・連携の促進ですが、イの小学校の球技大会等課外活動の廃止に伴いまして、競技を継続する小学生のために川淵三郎杯争奪サッカー大会、バスケットボール大会をスポーツ課が主体で開催してまいります。エの長野県木曾町からいただけるスキー場の無料リフト券を有効に活用するために、小中学生の家族を対象にしたリフト券の助成とスキーバスツアーを今年も開催してまいります。オの2026年に開催されるカヌーのアジア競技大会競技会場が三好池に決定されたことに伴いまして、大会開催の準備をまいります。以上が事業概要となります。</p> <p>続きまして、36ページがスポーツ課の事務分掌を掲載しています。スポーツ課は私を含め、10人の職員で事業を進めています。今アジア大会組織委員会に派遣で1人出向しております。</p> <p>続きまして、令和6年度スポーツ事業計画の一覧でございます。資料は37、38ページになります。資料の右側と左側でスポーツ課の各種行事、会議研修等が記載してあります。以上で説明を終わります。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>それでは続きまして、生涯学習推進課お願いします。</p>
<p>二子石生涯学習推進課長</p>	<p>資料の39ページ以降となりますが、生涯学習推進課の事業概要ということで説明をさせていただきます。</p> <p>40ページをご覧ください。生涯学習推進課事業概要でございます。1の現状と課題につきましては、今課題として生涯学習を始められるように市民のニーズに応じた多様な講座の開催や、学習環境の整備や既存施設の活用などがあります。性別や年代、障がい問わず、あらゆる方に生涯学習を受ける機会、読書ができる環境づくり、生涯学習に取り組んでいる方たちの成果を発表する機会の創出などが必要と考えています。</p> <p>41ページをご覧ください。3主要事業の中央図書館の部分でございます。7電子情報サービスの推進の中で、サンライズ開館時に設置いたしました図書館システム更新につきまして、先ほど予算のところでお話をさせていただいたとおり、9月に機器の更新を行います。また、更新後につきましては、今まで図書カードということでカードを持ってきて、それをカウンターでお見せして本を借りていただくというシステムでございましたけれども、システム導入後につきましては、皆さんお持ちのスマートフォンで画面を利用した形で、本を借りられるような形というか、スマートフォン一つで図書カードなくても借りられるように対応していくよう進めてまいります。</p> <p>続いて、42ページをご覧ください。生涯学習に関しましては、みよし悠学カレッジ講座運営事業を始め、幅広い分野にわたる講座を企画開催するなど、精力的に事業を展開しております。令和6年度につきましては、おかよし交流センターでも生涯学習講座を令和5年度の倍の30講座計画をいたしまして、市民の受講機会を増やして生涯学習に取り組みやすくしてまいります。</p>

今瀬委員長	<p>文化振興に関しましては、2 芸術文化国際大会等出場者激励事業の激励金を増額いたしまして、全国大会等へ出場する方への支援を強化してまいります。</p> <p>資料 4 4、4 5 ページには事務分掌等を載せてございますので、参考にしていただければと思います。以上です。</p> <p>続きまして、歴史民俗資料館お願いします。</p>
橋本歴史民俗資料館館長	<p>歴史民俗資料館長の橋本です。</p> <p>私からは、令和 6 年度の資料館事業概要について説明させていただきます。資料 4 の 4 8 ページをお願いします。</p> <p>始めに 1 の現状と課題についてですが、資料館では文化財及び伝統文化の保存活動を推進しております。また、市の指定文化財でもある石川家住宅においても各種イベントを開催し、施設の周知と入館者の増加を図ってまいります。施設の老朽化や来館者数の減少など多くの問題課題がありますが、今日のみよしを創りあげてきた先人たちから受け継がれてきた文化財や伝統文化を次世代に更に伝えるとともに、市民が地域に愛情をもってもらえるように努めていくことが求められています。</p> <p>次に、2 の重点事業につきましては、開館から 4 0 年以上が経過する資料館本館、再整備の方向性と併せまして、市内各所に点在する貴重な文化財の保存や活用についても検討を進めてまいります。</p> <p>また、みよしの歴史や文化について、地域の大人が子供たちに伝え、ともに学びあえる場づくりにも注力していきたいと考えています。</p> <p>次に 3 の令和 6 年度主要事業ですが、1 0 項目ある中で主なものとしまして、4 9 ページの 3 郷土芸能伝承活動発表会の開催事業です。9 月 8 日、日曜日にカネヨシプレイスでお囃子や巫女舞、棒の手などの発表会を行います。次に 8 の資料館展示事業ですが、資料館において季節ごとに企画展示会を開催しておりますが、本年度は空調機器の更新工事を夏の展示会終了後に実施するため、秋の展示会は中止とする予定をしております。その他ですが、小学校での猿投窯に関する出張事業のほか、石器づくりや土器型のクッキー作りなどの体験講座を開催し、みよしの歴史や文化に触れる機会を提供してまいります。次に、5 0 ページの 1 0 石川家住宅管理事業では、毎週末開催する歴史体験講座や季節ごとに各種イベントを開催いたします。</p> <p>資料の 5 1 ページは、事務分掌となっておりますので、ご覧いただければと思います。以上説明とさせていただきます。</p>
二子石生涯学習推進課長	<p>すみません。先ほど大村先生の方から予算のところでは質問のありました 6 ページの 5 社会教育費、2 青少年教育費こちらの増減の内容につきましては、確認したところ放課後こども教室を 6 年度から開催するというので、その予算額が 4, 6 0 0 万円ということでございますので、ご報告させていただきます。</p>
大村委員	<p>今までも放課後こども教室はやっていたのではないのでしょうか。</p>
岡田教育部次長兼学校教育課長	<p>放課後こども教室は、令和 5 年度は 2 校だけで試行的に実施しておりましたが、令和 6 年度からは本格的に全 8 小学校で実施するというので予算計上しております。</p>
大村委員	<p>2 校から 8 校になって予算計上が増えたということですね。</p>
今瀬委員長	<p>それでは、各課の説明がありましたが、大変多岐にわたりますので、各課ごとにいきたいと思っております。質問ご意見は併せて伺っていきたくと思っておりますが、まず学校教育課の資料 1、資料 5 の部分について、何かご意見等がありましたらお願いします。</p>
大村委員	<p>ご説明がなかったところではありますが、これは生涯学習課とも関わると思いますが、地域学校協働活動についてどういう役割分担があるのか、みよし市は学校教育課で行っていくということなのか、それとも生涯学習課と協働で行っていくのか、どういう分担で取り組んでいくのか、教えていただきたい。</p>
鈴木教育部副参事	<p>まだようやく去年今年ぐらいで、各学校で学校運営協議会が作られていよいよ始まるということですが、まだ手探りの状況ではありますが、仕組みとしては以前から続いて学校評議員制度のところから学校協議会に引き継いでいる学校もありまして、まだまだ全体的には学校教育課が主体となって進んでいるという状況です。ただ先ほどいろんな方から話があったんですけど、コミュニティスクールとかそういったことを考えると、学校</p>

<p>大村委員</p>	<p>教育課に限らず、いろいろなところと連携ですとか、どこが主体になっているかというのは、これから変わってることがあるという感じです。</p> <p>学校の構えというか、コミュニティスクールの学校の運営協議会の方は、学校教育課が進めるということでもいいと思うんですけど、地域の人たちが学校づくりに参加していくとか、先ほどおっしゃっていたコーディネーター、地域の人たちが参加していくという部分はやはり生涯学習推進課がサポートしていくとか、そういった人たちの要請といえますか、ネットワーク化はやったほうがいいというふうに思っています。それでただ、それは教育委員会の中の役割をどういうふうに配分していくか、あるいは協働していくのかという問題があるので、ぜひこれもご検討いただきたいと思います。</p>
<p>今瀬委員長</p>	<p>責任上ですけど、学校教育課が中心となって、校長先生を中心に組織づくりを進めていただきましたが、その辺で地域とつながるということで私も研修に参加させていただいて、社会教育の分野の役割が大変重要であることがわかったので、事務局の方も研修に参加していますので、さらに皆さん理解を深めていただく等の組織づくりができないかなと思いますし、県の方から社会教育委員さんも学校のコーディネーターとか、地域学校協働本部の中に委員さんを入れていくと、いろんな先進的な取り組みができると思いますし、そういうご助言もいただいているので、そんなところも考えていただいて、組織づくりを考えていただいたりするのかなと思っております。</p> <p>他に、学校教育の分野についてはいかがでしょうか。</p>
<p>近藤副委員長</p>	<p>教育長さんが最初の施政方針のところで、ふるさとを愛する協働の学習ということで、自分が歴史民俗資料館をどういう資料館にするのかという検討委員を昔やってたんですけど、見学に関してその時にあちこち見させてもらったときに、地域のやっぱり歴史民俗資料館が地域学習の中心になるということで、何年生に決めてあったかは、市町村ごとで違うと思うんですけど、教育委員会が予算をだしているのか、資料館で予算をとっているのかちょっとわかんないんですけど、資料館に子供たちを連れて行って、郷土愛の学習をさせるっていうところがきちんと組んでやる地域もあったんですけど、これ調べてみると結構いろんな市町村で行われているんですね。そういうシステムがあるのかちょっと不勉強ですが予算はどうなっているのか、その辺をちょっと教えていただきたい。</p>
<p>鈴木教育部副参事</p>	<p>今はですね、小学校3年生が社会科の初めての社会見学の中で、特に市役所の見学となっているほうが多いです。その中で、市役所に行きそしてその中のコースとして、資料館も回っているという学校もあります。ただ、ちょっと把握しきれてないんですが、すべての学校が資料館を見ているということではないです。</p>
<p>橋本歴史民俗資料館館長</p>	<p>今3年生がふるさと学習ということで資料館に来ていただいて、昨年度、今年度と黒笹小学校、最近では黒笹小学校だとか、三吉小学校に来ていただいて、子供たちに学芸員や資料館の職員が常設展示、特別展示の解説をしているという形で、必ず依頼があってということで対応はしておりますけど、基本的には全校には一応校長会でお願いをしておりますが、バスの都合だとかいろいろ事業の都合もあるということで、なかなか全部の学校というのは難しいところもありますが、コロナ禍でゼロだったところがコロナが明けて徐々に増えてきているというところなので、今資料館としてもホームページの方にもこういったことがありましたよ、小学校の子どもたちが来ましたよということをお知らせしています。それで来ていただけるといろんな感想文やお手紙をいただくものですから、そういったものをもうちょっと紹介させていただいたりとか、それを観に来る、お孫さんの授業の様子、作ったものを観に資料館に来てくれるというところを聞いてもいますので、そういったところで学校と連携して相乗効果で資料館の来館者も増やしつつ、ふるさと学習をやっているよというのを市民の皆さんに知っていただくというところは昨年度から実施しています。あと昨年度からなんですけど、新任の先生を学校教育の指導主任の先生が時期を決めて連れてきていただいて、先生たちが、まずみよしの歴史について学んで、その補足学習をやるような活動を学校教育の方としても各学校の新任の先生を含めて、みよしの歴史を知ってもらう活動は、今進めているところでございます。</p>
<p>近藤副委員長</p>	<p>なぜ、そういったことを思うかという、ふるさとみよしの時に学校教育でみよしのベースを教える。それが大人になって石川家住宅もあるわけですけど、全国に出た時にみよしは、やっぱり猿投窯の一大生産地で、最高の猿投窯を作っている場所は多分みよ</p>

	<p>ししかないと思います。それから、あとアジア大会のカヌーを三好池でやっていたとか、それから大岡越前守の最後の行事がみよし市であったとか、全国でみた時に通用するのは、猿投窯というのはちょっとマイナーなところがあるかもしれませんが、誇れるやはりそういうものが、子供から大人までみよしと言われたときに、こういうところだよと言えるような自分たちの生きているベース、アイデンティティのところはどうしても弱いと思うので、その辺が学校教育、社会教育も含めて、もう少し系統による教育がなされてもよいのかなと思います。</p> <p>ちなみに今日は猿投窯の陶器づくりのグループが伝統文化をやりながら陶芸を作っているみたいです。やはりそういうものを入れていくと、みよしの存在価値というか、ここで育ったんだという意味が実体験を通じて、もう少し組織的にこの中に入っていきけるのかなと感じています。すみません、いろいろ考えを述べさせていただきました。</p>
鈴木委員	<p>今お話を聞きながら、資料館の方でもいろいろイベントを考えてくださっていて、私は中部小学校で資料館の真ん前にいますけれど、去年は多分行けていません。みんなにはいろんなところを利用しようねと私から発信していますが、結局言っているだけで終わっている。お話を聞きながらすごく反省をしていて、せっかくあんなにいいところがあるんだから、学校の立場としてもそういうことにどんどん出ていくような働きかけをしなきゃいけないな、ただ作陶だとかそういったことはやらせていただいているので、継続してやっていきたいなあと思いました。</p>
大村委員	<p>ふるさとみよしでしたか、副教材を作られているという話をお聞きし知っていますが、どうやったら手に入るのか、読むことができるのか、教えていただきたいです。</p>
鈴木教育部副参事	<p>市販はされておりませんので、学校教育課の方にお問い合わせいただければ、手元には予備があるということになります。</p>
大村委員	<p>もしあればいただきたいというのはありますが、ただ同時に、このふるさと学習とか地域学習は大人にとっては必要だというふうに思っていて、だから保護者であるとか、地域の人たちが読めるような形にしたほうがいいのかもなあって思いがあります。あるいは大人用にちょっと編集した方がいいのかもしれませんが、これはご検討いただきたいということでもよろしいですか。</p>
今瀬委員長	<p>その他、学校教育について何かありますか。</p>
大村委員	<p>21、22ページのところです、校内フリースクールの設計、設備のことで書かれているんですけど、先ほど副委員長さんのお話でもありましたが、不登校の子供たちをどう受けとめるかっていうことで、みよし市としてどういう方針を持っていらっしゃるのか。あるいは、校内フリースクールが今どの程度整備されているのかということを知りたいのですが、よろしいですか。</p>
鈴木教育部副参事	<p>校内フリースクールについては、中学校市内4校に作って、運営ができるようにということで、必要な人員を配置しているところです。ただ、その専門のフリースクールの職員をそのままつけるということではなく、それは学校によって様々でして学校の中でもそういった不登校支援ですかそういったものにキャリアを積んでいる職員もいるものですから、そういった者が校内フリースクールの方に多めに入るようにして、その担当が持っている評価を、ほかの今回補充した教員で交換したりとか、そのような形で学校の実情に応じて、一番うまくいく方法で人員配置を進めている状況です。</p>
大村委員 鈴木教育部副参事	<p>人を増やしているということですか。 そうですね。時間数で言いますと、1校あたり1、160時間なので、1週間あたり大体29時間授業があるのですが、それ掛ける40週になります。増配していくということですか。</p>
大村委員	<p>それは学校によって、学校独自に人を雇う場合もあるということですか。</p>
鈴木教育部副参事	<p>市として予算確保して、それで学校の方で講師を任用して、あと学校の中で校内フリースクール担当の人、誰を据えるのかというのを組織を作っていく、そんなような感じですか。</p>

大村委員	それは、非常勤職員として任用しているのですか。
鈴木教育部副参事 今瀬委員長	<p>会計年度任用職員として任用しております。</p> <p>ほか学校教育かないようでしたら、スポーツ課の関係についてご質問があればお願いします。</p>
鈴木委員	<p>スポーツ課の小学校のサッカーとバスケットボールのところで、川淵三郎杯の継続と小学生のバスケットボール大会をやる話は聞いていて、それでスポーツプログラムも実施するという話は聞いています。それで、これに参加できるのは、そのスポーツプログラムに参加した児童だけになるのか、もうちょっと広いところで別にプログラムに参加していなくても大会は出れるよということなのか、そのあたりはどうでしょうか。</p>
林スポーツ課長	<p>バスケットボールに関しては、課外事業がなくなって、球技大会もなくなったということで、そのやっている子供たちが発表できる場をやっぱり残そうということで、スポーツ課で事業を予算化して、その大会を行うと11月2日なんですけど、そこでの参加者というのは、今考えているのは、いわゆる地域で今やっているバスケットボールチームに参加している子供たちがまず参加できるかというところを調整してもらっています。プラスわくわくたいけんルームでバスケットボールを体験して、その中でチームが生まれてくれば、その子たちも参加し、出場できるという、もうちょっと幅広いチームの中での活動と活動量も含めてですね、大会を開催していきたいと思っています。川淵三郎杯の方は、これまで本当に学校単位で行われていたのですが、今少しやり方が難しく、これもわくわくたいけんルームの中で、選手も集めざる得ないのかなと思います。地域の中でサッカーチームというのは、もうクラブチームになっていまして、みよしではグランパスぐらいしかないものですから難しい状況です。わくわくたいけんルームの中から選手を補充して実施していきたいと思っています。</p>
今瀬委員長	<p>地域チームが出場したり、補充のわくわくたいけんルームの選手が出たり、合同チームでもいいということですか。柔軟に対応して活動の場を作っていただきたいと思います。初めてなので、なかなか難しいですね。その他の関係でよろしいでしょうか。それでは、生涯学習課の関係でご質問ご意見がありましたらお願いします。</p>
野口委員	<p>41ページの5番の下の方の行ですけれども、これまで行っていた読書感想文コンクールを止めとありますが、これは夏休みの宿題、課題図書に対する読書感想文のことでしょうか。</p>
二子石生涯学習 推進課長	<p>はい、読書感想文コンクールということで、特にみよし市のということなので、指定図書とかいうものではないんですけど、今までは好きな本を読んでいただいて、各学校の方に審査をしていただいて、その中で優勝な作品につきまして、うちの方から賞状と記念品をお渡ししていたという形がございます。それで、今年につきましては、本のポップ展という形に変更とさせていただいています。本のポップ展って何かということなんですけど、生徒さんがどの本でもいいんですけども自分が何か気に入った本があれば、その本のイラストとその場面ですね、どんなところがちょっと感動したとか、そういったところを絵と短い文字で表したものを、それを提出いただくということで、提出先は学校を通じて募集をかけていきまして、学校の方は出てきたポップ展の作品を、そのまま生涯学習課の方にお出しいただけます。提示された作品はすべてうちの中央図書館内で展示をさせていただきまして、皆さんが読まれた本を同時に図書館内に陳列をして、こんなに素晴らしい本だよと視覚的にもとらえていただいて、その本を読むきっかけになればいいのかなというふうに考えています。</p> <p>メリットとしては、今までどうしても読書感想文ですと、文字ばかりだったものをですね、生徒さんが直接本を読んで感動したイラストと、その短い言葉で表現した、この本のこういったところがよかったというものを合わせて、直接市民の方に観ていただくというところがメリットというふうに考えて、読書感想文から本のポップ展にかえさせていただいた次第でございます。</p>
大地委員	<p>いつでもどこでも学習できるっていうようなことで、方向性で今回も話されていると思います。今日持ってきたんですが、令和4年3月にこの生涯学習基本計画というものを発表されて、とても丁寧に作成されていると思います。この中で、今日も教育長さんから話があったんですけど、みよし市の教育振興基本計画のプランをもとに、この生</p>

涯学習というところも扱われていて、ちょっと前にもお話をさせていただいたことがあるんですけど、そのプランとこの次の生涯学習の関わりとか、繋がりというところを明確にできたらいいなというふうに私は思っています。

プランの中でのこの社会教育部分ですね、そこどう繋がっていかっていうところを明確にできたらいいなと思ひまして、まずは学習プランの資料とかもうちょっとこの会でこうなっているの、この会でこれを扱うとか、生涯学習的に扱えるといいんじゃないかってみんなで共通理解ができればいいなということを思っております。それとこの推進基本計画の中に、これについて言うてはいけないかなと思うんですけど、この中に生涯学習推進会議というのが設定されて、それで進めていくということも書かれているんですけど、その生涯学習の推進会議、今どのような状況で行われているのかなというところをちょっと知りたいです。

次に意見なんですけど、41ページのところに生涯学習の活動内容が書いてあります。一つ一つ本当に努力されてやっているとは思いますが、サンライブでの活動という、枠組みの中でいろいろ提案されていますけれども、もうちょっと広いところといますかフリーな感じでいいですか、そういうところ今日は言いたいなと思ってきたんですけど、昨年ですね、人権擁護委員さんたちが映画会をされたんですね、人権について考えるということで、面白そうだなあと思って整理券を取りに行っただけです。そうしたら1時間経った後に行ったらもうありませんと言われて、皆さんが整理券をもらい視聴することがあったと思うんですけど、やっぱり面白いとか興味があることだとみんなが行ってみようとか参加してみようっていうことになることをすごく実感して、生涯学習としても何かそういうみんながこの人の話なら聞きたいとか、この映画だったら観て一緒にみんなで何か語り合いたいとか、そういうのをプランニングするともっと広くいろんな人が参加してみようとかいうことになるのではないかと感じることを感じたので、まあ難しいことを勉強するってこともあるんですけど、生涯学習としては何か皆が興味を持って学べるようなところで考えていくといいのではないかといいように思います。この間、教育推進会議の方でも若いPTA会長さんだったんですけど僕たちも勉強したいって言われたんですね。ただ時間がなくて忙しい人たちなので、なかなかそういう感覚が私は乏しいのかなと思っていたんですけど、そんなことなく勉強をしたいというふうに言われました。その人たちにも例えば話を聞ける機会とか、この人の話があったら聞いてみたい、家庭教育についてこの人なら聞いてみたいというような設定をしていくと、その人たちも参加しようという思いになるし、参加機会ができてくるのかなっていうことを感じましたので、今日は意見として出させていただきます。以上です。

二子石生涯学習
推進課長

ありがたい意見ありがとうございます。

最初の生涯学習推進会議がどうなっているのかというようなことでございます。生涯学習の関係会議というのを、実は来月8月2日に悠学カレッジの会議という形で開催予定でございます。こちらにつきましては、昨年も開催しております、いろんな役員の方入れる中で、実際に講座に出てみえる方のご意見とかもいただきまして、どんな講座が今ニーズとしてありますとか、その辺の意見もいただいております。その中で当然実現できそうなものについては、計画に移してというような形で進めさせていただいております。あと、市民の皆さんが興味を持たれるようなイベント事業というようなことの企画の提案を意見としていただきました。正直まだうちの課の中だけでは、まだ部長にも何も相談していない話なので、今ここで言っているのかってのはちょっと憚られますが、実はうちの3階の音楽室は防音の部屋となっています。資料としては図書館の中でDVDの貸し出しということで、ちゃんとライセンスを取ったものもございませぬ。この二つの素材があるので、3階の音楽室、実はちょっと完全な暗幕ではないんですけど、暗幕カーテンを買って暗くしてしまえばプロジェクター等の装置もありますので、社会教育に貢献しそうな、皆さんの興味のあるようなDVDの上映会っていうのをやれるのかな、と考えています。お金もそれほどかからないかなということ、密かに考えておったんですけど、カネヨシブレイスの方で映画会等たまにやりますので、いいなあと思っておったんですけど、生涯学習課の方でも資料を使って何かできないかな、建物を使って上映会などもやれたらいいなってところを企画案として内々で温めておるところでございます。

今瀬委員長

そのほか、生涯学習推進課について何かご意見はありませんか。

大村委員

いくつかありますが、一つ目はですね、生涯学習課だけのことではないと思うんですけど、子供タクシー、この場合小中学生ぐらいを対象とイメージしていますけれども、家庭以外の居場所といえますか、その地域の中に居場所を作っていくことは、非常に重

<p>二子石生涯学習 推進課長</p>	<p>要になっているというふうに思っています。先ほどの不登校の子供たちもそれに関わってくるんですが、そういった取り組みは生涯学習課、生涯学習会議では考えないのか、あるいは他の部署でそういうことをやっていくのか、ちょっと教えていただきたい。</p> <p>第三の居場所という形のご提案でございますが、基本的には第三の居場所というほどPRをしているわけではないんですけど、図書館のロビー、この建物のロビーですね、そちらの方につきましては基本的にはどなたでも使えるというような形で開放しております。テスト時期になりますと、中高生なんかは結構集まってきて、一緒に勉強したり、後は最近ちょっと多いのが、ロビーを使ってカードゲームをテーブルの上でやっているという状況があります。ただ、あまり声が大きくなった場合は声かけさせていただいていますけど、そういったことで皆さんいろいろ活用していただいているというようなことでございます。あと本当に小さな幼児ですね、幼児ぐらいのお子さんにつきましては、1階にプレイルームということで、そんなお子さんたちが遊べるような空間があり、遊具なんかも今年更新させていただいたものですから、利用が増えているよう状況でございますので、結構小さな幼児の方から高校生ぐらいまでは、いろんな方が利用していただいているかなとは思っております。以上です。</p>
<p>大村委員</p>	<p>小中学生の居場所というと、このサンライズとかの場所はいいと思うんですけど自分の力で行けてということを見ると、やはり地域にあった方がいいと思うんですね。そういう点で、例えば公民館がそういった場所になればいいんじゃないかっていうふうに思いますが、事業の中にはちょっと見当たらないものですから、そうした子ども対象の事業ということもありますし、そうした子どもの居場所を作っていく、そういった支援者の育成っていうことも、事業としては事業としてはあり得るんじゃないかというふうに思っております、これは全体として子どもの居場所、第三の居場所というのを作っていくという合意がないと進められないかも知れませんがぜひご検討いただきたい。</p> <p>これが一つ目ですが、二つ目はちょっと繋がっていくんですが、10代後半から30代くらいまでの青年期を対象にした事業が見当たらないっていうふうに思っています、中学生等は小中学校が中心的に対応できるということでもいいんですが、高校生以降で30代くらいまでの若い人たちの活動場所っていうのを作っていく必要があるのではないかと考えています。</p> <p>特に、孤立孤独の調査がなされていますけれども、この孤立孤独の調査は、高齢者が一番のターゲットかなと思っていたのですが、結果を見ると一番孤立孤独を感じている世代は30代、二番目は20代ということで、特に学校から離れて働き出す、そして結婚するまでの空いた時間が非常に孤立感、孤独感を深めることということが調査結果で出ています。かつてであれば少年団、青年団だとかそういった団体がそういう仲間づくりを支えていたのですが、今そういったものがほとんど少なくなっている中で、こうした社会教育の施設、あるいは授業の中で仲間づくりといいますか、社会での出会っていく場所というのが用意される必要があるんじゃないかと思えます。</p> <p>その一つが二十歳の集いだろうと思いますが、二十歳の集いだけではよろしくないんじゃないかと思えます。特に今回市で一つということですね中学校単位じゃない、豊田市は中学校単位でやってますし、私は名古屋市ですけど小学校単位でやっていて、それは地域で子供を育てるっていうのを二十歳まで繋げていこうというそういった意図があるんですが、今回全市的にやろうっていうのは、それなりの思いがあるとは思いますが、子ども地域の中で子どもたちを育てることが、その次の段階として青年期も地域の場所、地域に自分の居場所がある、あるいはその地域と繋がっていくっていうそういう市民を育てていく必要があるんじゃないかと思えますので、ぜひ10代後半から30代までをターゲットにした事業というのを考えていただきたい。</p> <p>これは、要望としてお伝えしたいと思しますので、三点目はこれも要望になりますが、公民館の活用をですね、お考えいただきたいというふうに思いました。43ページのところ表があって、お二人の方が担当で張り付かれていますけれども、事業の中身をみると、その公民館それぞれでやってる事業を活性化していく事業があまりないのではという気がしています。サンライズで行う事業はありますけれども、公民館を活性化していくという、最初ちょっと挨拶でも触れましたが、そういった戦略をサンライズは持つべきじゃないかなというふうに思っています、サンライズの中だけで授業をしていけばいいんじゃないかと、出前の講座を去年から始めたとはお聞きしているんですけど、こちらからこう持っていくだけではなくて、それぞれの公民館が活性化していくのが、そこで授業を計画して実施していく人たちを育てていくことが、必要ではないかと思えます。この公民館の活性化というっていうことを、ぜひ事業化して取り組んでいただきたいというのが三つ目の要望としてお伝えしておきます。</p>

二子石生涯学習 推進課長	<p>ありがとうございます。公民館の活性化ということで、今43ページの方の公民館の事業内容や当課の役割分担を見られたと思います。</p> <p>表の下から2番目の地域文化活動等推進事業補助金っていうのが、これが各公民館で行います文化活動に対する補助金ということで、地元の一般的には自治会の方で企画していただいた事業に対して、補助金を出して支援を行っているというような形の事業もございます。あとは、ちょっとまだみよしの中に、ここの生涯学習課が入っておりますサンライブ以外に、北の方におかよし交流センターがありまして、そちらについては、令和5年度から生涯学習講座の開催をしております。予定ですと令和8年度からは、南の方の地区にみなよし交流センターというのが建設が終わり、活用ができ始める予定でございますので、令和8年度からは南の方でも生涯学習講座が開催できるような形で進めてまいりたいと考えております。以上です。</p>
鈴木委員	<p>先ほど児童館や集会所や公民館、第三の居場所っていう話になったんですけども、本校の児童の中にも学校にはなかなか来られない。でも児童館には遊びに行くよっていう話はよく聞きます。みよしは、こういう集会所や児童館が大変いろんなところにたくさんあって、とても充実していると思います。今でもそういった子どもたちの受け皿になっているし、それから児童厚生員さんたちもすごくいろんなイベントを考えてくださって、工作もいろいろやるよとか、そういうこともやってくさって、そういう時は多くの方が来てくださってます。</p> <p>それから、最近は中学生もよく来るんですっていう話を聞くようになりましたので、もしかしたらその集会所や児童館とかそういうところが、何となくこれまで小学校対象というイメージがあったけれども、中学生を含めた居場所になっていく方法もあるのかなということ先ほど大村先生のお話を伺い思いました。</p>
今瀬委員長	<p>児童館や集会所は各行政区にいくつくらいありましたか。</p>
富田教育部長	<p>児童館は、多分12か所、集会所は各行政区にあります。児童館のある所には児童厚生員を配置させていただいて、児童館のない行政区には集会所に児童厚生員を配置しておりますので、朝10時から夕方5時まで常時配置していると思います。なので不登校の子どもも当然行けますけど、就学前の小さいお子さんもお母さんと一緒に遊びに行くことができます。</p>
今瀬委員長	<p>他に生涯学習推進課の件についてよろしいでしょうか。</p>
近藤副委員長	<p>公民館など各地域にあるんですけども、高校生がよく勉強に来ていますのね。ただどこここに来るって結構この近くの子どもであって、後は、もうさんさんバスか自転車か来ていてとかで、あと地域で行くと、おかよしならば三好丘の近くの子ども、今度は南でもみなよしができますが、もうちょっと一般的に近くに中学生高校生が寄れるという小さい居場所がもうちょっと整備できないのかと思っています。なんでそう思っているのかというと、かなり前ですけど40年くらい前に岐阜市で教育研究大会があったときに、学校の体育館と図書館と家庭科室と音楽室とプールかな、これが地域共用でやってたんですね、もう40、50年くらい前です。それで、そこに聞くと放課後は小さい子どもから大人まで夜までずっと対応していて、だから小学校区ごとにと、何かそのモデル地区だったとかは知らないですけど、でも、みよしはその時に児童館は児童館、公民館は公民館、地域の公民館に老人憩い家とか全部バラバラで作っていて、結局はそれぞれが僕に言わせると中途半端になってしまっていて、今この生涯学習の時代になってくると、やっぱり朝から夜まで地域の人が常時利用できるようなそういう核となる場所の長期展望に立った施設の整備を順次更新していくべきではないのかなと昔から思っていて、それで子供たちが今帰ってくると、大体うちの孫はそうだなと思っていたのが、小学校1年生帰ってくると、パソコンを開けてゲーム、インターネットでチューブって感じで何処も遊びに行かない。</p> <p>結構児童館までは家から遠いので時々送っていくんですけど、それにしても送り迎えなしでは使えない。だから、やっぱり地域にそういう中学生が集う場所で公民館でゲームやってもいいんでしょうけど、今新しい図書館ってゲームもできるわ、喫茶店もあるわ、子育てもできるっていう総合的な図書館も全国あちこちでそういうシステムに変わっている時代なので、みよしはいいなとは思ったんですけど、もうちょっと身近な場所にそういうところが時間を解放しながら使える人的配置みたいなことがやられていくと、もう少し地域のコミュニティーが活発になる、地域のコミュニティーがあるという</p>

	<p>ことは一生ここに住み、人と人が繋がっているからここに住み続けたいという。だから前みよしが、住むにはいいけど一生というのは、行政の方で何かをもらうのはいいけども隣近所の付き合いがないから、結局はまた違うところに行くとかで、年を取ったら違うところを探して住むというふうになってしまう。やっぱり地域が顔で小さい時からいつも繋がっていて、地域で活動できるという高齢者社会になっていくといいなと思うんで、そういうものを先取りしながらみよしも整備行くといいんじゃないかという時に、それをやっていくのは社会教育のここが市の連携をとり、考えていくところは多分ここしかないと思うので、どんどんそういう意見を発信していかないと、また昔どおりの縦割り、結局は皆がいつも一緒になってやれる場所がないっていうふうになっています。</p> <p>みよしもちょっと發送変えながら行政が動く時代に世間も含め入ってると思うんですけど、なかなかみよしがそういうのも見えてこないで、何かそういう動きにしていただけるといいのかなと思って、先ほどの大村先生と同じことを考えているなあと思いい、報告してます。</p>
岡本委員	<p>私は、今明知上で区長をやっているんですけど、大体午前中はずっと公民館いるんですけど、それで事務員さんが10時から午後3時までいるんです。その間の時間しか利用ができない状況なので、今は土日は施設を閉館していますので、ちょっと事務員さんも夜まで来ていただくと、まず事務員さんの給料も増えますし、ちょっとしごらみがあるんで、これからその辺りを何かいい方法があるかどうか検討していく必要があるのかなと思います。</p>
今瀬委員長	<p>はい。後はよろしいですか。それでは、最後の歴史民俗資料館の方に進みたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
近藤副委員長	<p>福谷城が多分整備されていると思うんですけど、市長が発掘調査を今後やる予算はどれだけかちょっとよくわからないんですけど、やっぱり酒井家、酒井忠次が最初に城主だったところで、最後の酒井家というのは明治維新で一番活躍してとか、そういう流れを皆さんが知りながら、結構福谷城が最後の石垣になる前の城の状況をかなり残しておくので、やっぱりもう少し予算をつけて早めにきちんと整備をすべきじゃないかと思ってますけど、自分が城マニアまではいかないですけど、全国大小いろんなところへ見て回っても、足助とか稲武とか小さいことでも結構パンフレットいっぱい作って、こんなこと宣伝するというようなことでも、道路地図、立て札、説明書がすごく整備されて、それでそのパンフレットがあちこちに置いてある。稲武なんか人口何千人ですよ。そんな人口何千人のところでも昔は村がこういうところであったという絞って情報発信して、ふるさととは、こういう歴史があって現在我々がいるとかやっているんで、それはやっぱりみよしのアイデンティティのことはそこら辺が全部出て弱い地域だなと思って、それを総合的にやっていくまちづくりっていうのは、やっぱりしていかないと、そうするとやっぱり社会教育というのは、ものすごく大事だと感じて歴史民俗資料館の中心としてやるところって結構重要な社会教育の部署なので、もうちょっと基本的には税金等の分配になるので、ないものはないで、他から取ってこないで予算が回ってこないで、そうすると基本的には住民の後押しがないと部長さんも予算要求が難しいと思うので、本当にみんなで全体的な雰囲気、教育委員会のところ、教育長を含めて、その予算が取れるここは大切なところだというのが、やれるといいかなと思いいながら頑張ってくださいとしか言いようがないですがお願いします。</p>
岡本委員	<p>福谷城は僕も一度行ったことがあるんですけど、僕はそんなに詳しくはないですが、ここへ行って見て何かイラストか何かありません。昔で言うと、これが福谷城の図みたいなものが、今では周りに木がいっぱい生えて過ぎてしまって、とてもこんなところに城があったなんて思えないですが、木を切るだけで見晴らしがよくなって城らしくなるんじゃないかなと思いました。</p>
橋本歴史民俗資料館館長	<p>なかなか答えづらいところもありますが、我々の努力不足というか、予算の方も市の方に教育委員会としても一応働きかけ、その都度働きかけはしておるんですけど、なかなかそちらまで回らないというのが現状ではございますが、でも確かに近藤委員言われるように貴重な場所であることは、資料館としても教育委員会としても認識しておりますので、今後そうですよね市全体の文化財を含めて、連携して盛り上げていけるような形で今考えて事業を進めている状況ですので、申し訳ありませんが、すぐに何か具体的にできるというところではございませんが、今後まったく何も手を付けていかないとかそういうことではございませんので、その辺だけ、言い訳になるかもしれませんがすみま</p>

今瀬委員長	<p>せん。</p> <p>他には、全体を通して何かこれを伝えたいとかありますでしょうか。</p>
岡本委員	<p>サンライブの駐車場なんですけど、使えなくなってから大分経つんですけど、内情は薄々感じて知っているんですけど、なんとかならないかなと。特に雨の降った日とかです、利用者も高齢者が増えてきていますし、みよし市役所まで行って歩いてくるのは申し訳ないので、何とかならないでしょうか。</p>
富田教育部長	<p>何度かそういったご意見はいただいておりますが、なかなか難しいところがございます。利用者の方にはご不便をかけていますが、現状でお願いします。</p>
今瀬委員長	<p>年2回しかない会議でもありますので、時間も迫っておりますけども、その他意見、感想でも構いませんが、堀本委員いかがですか。</p>
堀本委員	<p>こども園、幼稚園で、みよしにある幼稚園を卒業したんだよと大きくなってから言ってほしいということで、みよしの名産である柿狩りをやらせていただいたりとか、ぶどう狩りをやらせていただいたりとかしています。ぶどう狩りは今回お断りされてしまったんですけど、柿狩りは農園でやらせていただいております。こども園とか幼稚園もみよしを、もっと大事に思っしてほしいという気持ちで毎日保育はしていると思います。</p> <p>それと窯、猿投窯、あまり詳しくなかったんですけど、そういう体験もさせてあげたいと思っているので、よろしくお願いします。</p>
今瀬委員長	<p>ありがとうございました。まとめるといいと思うんですけど本当にたくさんの提言をいただきました。教育委員会委員さんの提言で、素晴らしいご意見ばかりですので、うまくこれからの事業展開に活かしていただければ、あるいは今すぐにでも取りかかれるものもあると思いますので、事務局予算取りとか大変だとは思いますが、皆さんの本当に貴重なご意見であったと思います。みよしの社会教育を何とかしようという熱い思いを届けていただいたと思いますので、ぜひ意見を今後に活かさせていただけたらと思います。その他、何かございますでしょうか。なければ本日の協議事項はすべて終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。事務局へお返しします。</p>
典礼(伊豆原生涯学習課副主幹)	<p>本日は貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第1回社会教育委員会を終了いたします。皆様ご起立をお願いします。一同礼、ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>